

雪国札幌を考える【雪】



実施期間

【1/27～ 2/28】

ゆっぽろシート

【雪】キャラクター「ゆっぽろ」

次年度の取組に向けて

「さっぽろっ子オリ・パラウイーク」における取組

ねらい

友達と楽しみながら雪遊びをすることを通して、冬の特徴や他の季節との違いを見付ける。また、学年で、「ぐんぐんスノーフェスティバル」を計画し、実施することで、主体的な活動となり、自分のよき、友達のよきに気付いたり、学んだりすることができる。

取組内容

2年生の生活科「北風がはこんでくるものはなあに」の学習で、主に、雪遊びや雪像づくりを行った。その後、雪遊びをメインとした学年集会を計画し、実施した。

- 1 冬が感じられるものについて交流
- 2 雪遊び
 - ・グラウンドのミニ山でそりすべりをしたり、雪だるま作りなどをしたりして、思い思いの過ごし方で、雪遊びを満喫した。
- 3 「ぐんぐんスノーフェスティバル」の計画
 - ・どんな遊びをしたら、みんなが喜んでくれるか。それには、どんな準備が必要か。学級で話し合い活動をとって計画・準備を進めた。
- 4 「ぐんぐんスノーフェスティバル」の実施
 - ・計画をもとに、リハーサルの時間も取った上で、実施した。



成果

冬の寒い中、どの子も笑顔で雪に親しみ、雪を使った活動を楽しむことができた。特に、「ぐんぐんスノーフェスティバル」では、学級の仲間との話し合い活動をもとに、実施することができた。友達と一緒に協力して実施できたことで、より一層、雪と親しむことができた。

次年度の取組に向けて

本校は、毎年、大きなスキー山の他に小さな雪山を作ってもらっている。スキー学習だけではなく、今後も、雪と親しむ活動を行うにあたり、グラウンドの環境を整えていきたいと考える。